

第5回臨時会

光熱・食料品等緊急支援 給付を可決

令和4年10月19日に臨時会を開き、一般会計補正予算が提案され、原案通り可決しました。

歳出の主な補正

電力・ガス・食料品等価格高騰緊急支援給付金給付事業 8010万円
新型コロナウイルスワクチン接種事業 933万円

問 電力・ガス・食料品等価格高騰緊急支援金の対象者は。

答 令和4年度分の町民税均等割が非課税である世帯。1世帯当たり5万円を支給で、1500世帯分。

問 コロナ予防接種委託料の内容は。

答 5回目接種とオミクロン株対応接種1万6800人分。4回目の接種率は60歳以上約76%。



厳冬による使用量増でメーターは上昇中

第6回臨時会

子育て世帯への臨時特別給付を可決

令和4年11月14日に臨時会を開き、一般会計補正予算が提案され、原案通り可決しました。

歳出の主な補正

子育て世帯への臨時特別給付金 6900万円
物価高騰対策農業者支援金 650万円

問 子育て世帯への臨時特別給付金の対象者は。

答 0歳から18歳までの児童を養育する世帯に対し、児童1人当たり1万5千円の現金を支給。

問 農業者支援の対象者は。

答 認定農業者および前年の農業収入が50万円以上の人。認定農業者は10万円、他は5万円を、申請して給付を受ける。



第5回・第6回臨時会賛否一覽

議案番号	議案名	議員名			結果													
		賛成	反対	議決結果	小林 静弥	富岡 栄一	飯塚 憲治	廣嶋 隆	富岡 大志	金谷 康弘	村越 哲夫	坂田 一広	飯島 衛	平形 薫	山畑 祐男	小池 春雄	岩崎 信幸	
議案第61号	令和4年度吉岡町一般会計補正予算…上記参照	12	0	可	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第62号	令和4年度吉岡町一般会計補正予算…上記参照	12	0	可	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○

可…可決、否…否決、○…賛成、×…反対、欠…欠席、退…退席、除…除斥
議長は採決に加わっていないため「-」で表示

さらなる魅力的な
町に期待



こぐれ としゆき 俊之さん (漆原西)

吉岡町は先達たちの尽力もあり人口増加傾向が続いております。しかし2040年全国の地方自治体の896市町村が消滅もしくは機能を維持できなくなるという増田レポートというのを読んだ事があります。だから今の吉岡町がこの先も住みたい町として選ばれるための環境整備や特産品、教育、企業誘致は私も気になっていました質問でした。町も真摯にこの問題に取り組んでいるのが伝わってきました。引き続きさまざまな視点から議論していただき、さらなる魅力的な町になることを期待しております。

議会を
傍聴して

視察研修レポート

総務産業 常任委員会

地域活性化の先進事例に学ぶ

【西伊豆町】町営の地産地消拠点である「はんばた市場」を視察し、ふるさと納税・「はんばた市場」・電子地域通貨「サンセットコイン」・「ツッテ西伊豆」の各事業を説明していただきました。人口減少や高齢化率約52%への危機感から、何とかしたいと挑戦を続け、アンテナを高く張り地域ブランド化となる事業を次々と立ち上げ、多数の職員を巻き込んで事業を展開していました。

【松崎町】町役場で移住・地域おこしの取り組みを中心に説明いただいたあと施設を視察しました。「出会い村蔵ら」では高齢者の活躍機会の創出を目的に企業組合の運営をしていました。交流拠点施設「ふれあいとーふや」では創業・雇用の創出や関係人口の創出による地域の活性化を支援していました。

(委員長 富岡 大志)



地域活性化には「地域ブランド化」・「関係人口創出」が重要（西伊豆町「はんばた市場」）

文教厚生 常任委員会

有機廃棄物の処理・活用施設を視察

宮城県村田町の有機廃棄物処理工場、(株) 県南衛生工業「ハザカプラント」は、生ごみ・汚泥類・し尿やふん尿・血液から魚介類まで、有機物を発酵処理し、肥料化する施設です。設備は幅3m・深さ2m・長さ100mのレーンに処理材料を投入し、1日1回4mずつ、機械式ロータリーで一定方向へかき混ぜ送り出す方式です。有機材料はかき混ぜることにより地中細菌によって発酵分解・無害化され、最終的に堆肥になります。

設備の最大の利点は費用をかけて処理が必要な廃棄物を有用なものへと再生産できることです。これはカーボンニュートラル・SDGs（持続可能な開発目標）の実践だと思います。吉岡町でもこのような取り組みを検討し、今後行動を起こすべき選択肢の一つと感じます。

(副委員長 飯塚 憲治)



有機廃棄物処理施設「ハザカプラント」

議会広報 常任委員会

情報が伝わる広報誌に

群馬県町村議会議長会主催 広報クリニック研修

11月24日・25日の2日間、前橋市にある群馬県市町村会館で、広報クリニック研修がありました。

24日は、「議会広報誌の基本と編集」に関して、テキストを参考に講演がありました。

25日は、「吉岡町議会だより」の広報誌に対し、クリニックを通して改善点の指摘や講評がありました。吉岡町の広報誌に関して、長所・短所の的確な指摘をいただき、今後の企画編集の課題として、大きな成果が得られた研修会となりました。

(委員長 廣嶋 隆)



コロナ対策により日程を分けて開催した
(群馬県市町村会館)